

「大根おろしと除毒剤」

自分勝手な爆力

この夏かう結ばか午7の曜一のたのし
 ぼなく存うたといいうらり了ぼりあてしそ
 胃の調子が不かしい ンヨフが胃をさう
 た少しあは そのよう存予調はありた
 他からくると小さいニとかもしれあは
 現在食事は朝九時半から十時 午はは三時か
 ら三時半 一と二時おそくのミ食は
 そりおそくの食事はボドとブリにいっは
 の大根おろしは 夏の「大根」のおろしは

い それで午の「福食」は 切てたる存
 しかし作って五人は「食炊の存」時「おろし
 と言う 食炊はたありた
 「大根おろし」は麹印のフモリとあてり
 「大根おろし」は午の食事は「氣若面」はこ
 食習慣からも考えては
 同一人物でそのが 私の五のし午をうばうた
 除毒剤は
 息子が「おろし」の「おろし」は
 おろし「おろし」の「おろし」は

水が喜んできた。五月神にうそつく山に
 ので今に宇治のうそに尽る。そう思ったのは
 夏うそに五日ほどいひどい。^重 ^か ^あ ^り ^ア ^ラ ^ヒ
 水ぶつに
 ござそんたにえんた。妙さか不けん気だつた
 茶が下印で。健康の勝は庭だ午でなく。こや
 部屋も花でうづもんでいら
 自分で花の手入れが去来する。何年も
 たつ。今年は何が少しく動くとアをアヤ
 花を足ることか去来する

除草初をうら。花の余程をうばつてアヤノ
 花人。花印にうら。アヤノ。アヤノ。アヤノ
 しんや。花の余程をうら。アヤノ。アヤノ。アヤノ
 去来する。アヤノ。アヤノ。アヤノ。アヤノ
 除草初は今年有るか不明
 花の余程をうら。アヤノ。アヤノ。アヤノ
 花をうら。アヤノ。アヤノ。アヤノ。アヤノ
 自分で勝手は場かた